

bethel hospice letter spring

ホスピスだより

tender loving care vol.11



松山ベテル病院 ホスピス病棟
〒790-0833

松山市祝谷6丁目1229番地

TEL 089(925)5000

FAX 089(925)5599

ホームページ <http://www.bethel.or.jp/>



医療法人 聖愛会
松山ベテル病院

お母様との思い出



昨年、ホスピスに入院されていた、ある一人の患者様のご家族様に頂いたメッセージを紹介します。この患者様は、昨年の2月～夏にかけて、疼痛緩和の目的でホスピスへ入院され、3回の入退院を繰り返され、最期は、患者様ご本人の強いご希望と息子様の決意で、自宅で旅立たれました。お二人の、互いを思いやる温かい愛情は、私たちスタッフの心の中に深く刻まれています。

おとし、10月頃、中橋院長先生が書かれた、愛媛新聞の記事を拝見して間もなく、90歳の母が舌癌のIV期との診断を受けました。悩み、相談し、病状や年齢、母の意向もあり、積極的な治療はせず、在宅で生活し、最期はできれば自宅で…ということに決めました。

記事を思い出し、主治医に松山ベテル病院行きを相談、ベテル病院にも電話し、翌日、予約なしで押しかけました。忙しい中あたたかく対応・案内してくださいました。帰る時には、お世話になろうと決めていました。今、思うのですが、母の為というより、自分の為だったように感じます。僕の方がより癒されました。

母は、テレビ番組の「おしん」の世代で、我慢して、我慢して、また我慢してという生き方で、自分のことは後にして、という人でした。親孝行せずじまい、せめて残された時間だけは穏やかにと、願うばかりでした。逝くまでに3度お世話になったのですが、母の、家に居たい気持ちが強く、1～2週間の短期になってしまいました。病院の皆さんには、さぞ、忙しい思いをさせたことでしょう。ごめんなさい。

病棟の皆さんにも、よくしていただき、ゆったりと過ごさせてもらいました。担当になってくれた看護師さんが、田舎者の我が親子と波長が合うというか、母は孫にでも会っているような感じで、いい顔をしていたのを思い出します。この事だけでも、ベテル病院でよかった。先生も御自身の父上の辛い経験を話して励ましてくださいました。

母は、昨年の夏、自宅で天国へ行きました。新聞記事から始まった今回のことは、不思議でした。希望したように事が運び、ありがたいことが続きました。全ての方々に感謝申し上げます。

今、辛く苦しい状況にある方々が、少しでも穏やかになられるよう祈ります。





Happy Birthday ♪ Birthday ♪

ホスピスに入院中、お誕生日を迎えられた患者様へ、お誕生日のお祝いをさせて頂きました。

お二人ほど、紹介させて頂きます。

患者様に、メッセージカードの感想を頂きました (*^_^*)

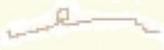


まさか、皆さんにお誕生日を祝っていただけるとは、感激でした。楽しいひと時でした、ありがとうございました。



お誕生日の患者様へ、
病棟スタッフからの歌と、
メッセージカードでお祝いを
させて頂きました♪♪♪

これからも、穏やかなお時間を
過ごして頂けますように☆



お茶会へどうぞ

チャプレン 村井 仁

ベテル病院では週に一度「お茶会」を開いています。元々はチャペルでおこなっていたものですが、いろんな方に、より気軽に参加してもらえるように試行錯誤しながら、昨年暮れよりホスピスの詰所前に場所を移し、毎週木曜日午後2時半～3時過ぎに開いています。チャプレンがコーヒーやカップの準備を調べ、他の飲み物をご希望の方にもボランティアさんがオーダーメイドで注文を受けてくれます。ちょっと淋しい時もあれば、注文でテンテコ舞いという時もありますが、お蔭さまでいろんな方に参加していただいています。

ホスピスの廊下にコーヒーの香りが漂い始めると、三々五々、患者さんだけでなく、付き添い中のご家族、ホスピスの看護師を中心に、ボランティアさん、時にはリハビリのスタッフや通りすがりの主治医、病室の清掃員の方も誘い込まれている？ こともあります。「以前お世話になったので、近くまで来たので寄ってみた」という方も。時折「昔よく弾いていた」と、即興でギターを弾く患者さんとみんなで歌う時や、音楽療法のボランティア活動日で偶然来院されていたハープの演奏家の方が、飛び入りで生演奏リクエストに応じてくださったり、というサプライズもありますし、患者さんからのお茶菓子の差し入れがあったり、先日の節分の日には在宅ホスピス帰りのドクターから「石手寺からもらってきた豆！」と提供を受けてみんなでポリポリいただいたり…と小さな楽しみも尽きません。今はちょうどひな祭りの雛壇の前で飲んでいます。



「お茶会」は勿論お茶を飲むのですが、なにをするでもない会です。この「なにをするでもない」時間そのものに平安があります。「なにをするでもない」ということは、仕事中的人間からすると「無意味・無駄な時間」と思えますし、健全な感じ方かもしれません。それは私たちが

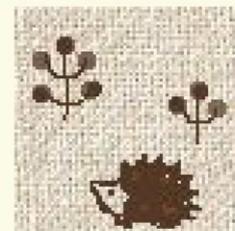




なにかを為すこと【Doing】に大きな価値を見いだして生きてきたからです。なにもできなくなり、ただそこにいる【Being】しかなくなれば、どうなるのでしょうか。そのつらさや悲しみを誰もが知らないわけはありません。人間という意味の英語【human-Being】は、人間存在のそもそもの価値をよく表しています。

病院では「人と人」というよりは、どうしても「患者と医師・看護師（医療者）」という関係がすべてになりがちです。言うまでもなく病気や治療、お金の話以外に価値が無いわけはありませんが、「人はパンのみに生きるにあらず」（聖書）、パンだけを見る者は常に飢え渴くのです。

「なにかチャプレンが（聖書の）お話をするんじゃないんですか？」と訊かれることがあります。私はなにもしない（コーヒーを淹れるだけ）人間ですので、スタッフも含めてみんなが「ただの人」同士を感じる場所の一つとして、今後もお茶会が開かれてゆくことをお祈りし、お茶会の紹介をさせていただきました。





ボランティア募集しています！！



病室へのティーサービスにご奉仕くださる方、病棟のお花やベランダの園芸のお世話をしてくださる方、チャペルでのレクレーションにご協力くださる方等々。
 ※「聖愛会ボランティア説明会」（無料）の受講が必要です。心身ともに健康な成人で、定期的・継続的に活動いただける方の問い合わせをお待ちしております。

TEL：(089) 925-5000 FAX：(089) 925-5599 E-mail：volunteer@bethel.or.jp

ボランティア委員会（担当：森）



ホスピス献金をお願いします！！

ホスピス献金は、ホスピス病棟や難病病棟の援助等、(医)聖愛会の諸活動の援助の為に(医)聖愛会に寄付として頂いております。皆様方の暖かいご支援をお願い申し上げます。

★ 現金送金 ★

〒790-0833 松山市祝谷6丁目1229番地
 松山ベテル後援会（松山ベテル病院内）

★ 郵便振替口座 ★

口座番号：01610-2-25364 名義：松山ベテル後援会

※「ホスピス献金」として献げる旨と「金額」をご記入ください。



編集後記

このたび、東日本大震災で被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の報道を見るたびに胸が痛くなります。自然の驚異を目にして、ただ言葉を失いました。私たちにできることは何か……。今ここにいる患者様、ご家族の思いに寄り添いケアすること、毎日を大切に生きることではないかと思っています。誰もが安心して過ごすことができる日が来ることを願っています。その日まで一步一步進んでいきましょう。一刻も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

編集委員会：竹内、西原、宍戸、山田

2011年4月発行